

第 18 回日本感性工学会春季大会 優秀発表賞

2023 年 3 月 6 日(月)～7 日(火)に、オンライン開催された第 18 回日本感性工学会春季大会の優秀発表賞は、予稿原稿による事前審査、および、口頭発表による当日審査の結果に従って、3月13日の優秀発表賞選考委員会において慎重に協議した結果、下記の7件に決定致しました。今後の研究の発展と、皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

※優秀発表賞では、予稿の書き方や研究の目的設定、発表の方法や質疑応答等が優れており、また今後の研究の進展に期待できる若手研究者を顕彰します。なお、本賞は発表内容の正しさを必ずしも保証するものではありません。

加藤 拓巳 (明治大学)
東西南北が商品・サービスの魅力に与える影響
－原産国の四方位への拡張－

松田 創 (早稲田大学)
Noisy Color Phenomenon の生起メカニズムに関する定量的心理モデルの構築
－正方形カラーパッチを刺激とした印象評価実験の分析－

佐野 貴紀 (慶應義塾大学)
幾何学的形態測定法と深層学習手法の統合による顔魅力特徴の探求

池島 俊季 (ポーラ化成工業株式会社)
聴覚刺激が心理状態を介してスキンケア製品の触感に与える影響

榎戸 菜美 (信州大学)
音楽・振動・照明刺激を用いた多感覚刺激呈示によるリラックス亢進効果

坂口 歳斗 (株式会社資生堂 未来開発研究所)
化粧品容器の表面物理特性が容器触感印象に及ぼす影響

Vithor Hugo Costa da Silva (筑波大学)
Does the shape of the UGV Robot matters for perceived safety?
－A Study on the Effect of Slant Shape of UGV Robots－

以上

第 18 回日本感性工学会春季大会優秀発表賞選考委員会
選考委員長: 庄司裕子(中央大学)
選考委員: 高寺政行(信州大学)
上條正義(信州大学)